

平成 31 年度事業計画

【経営方針】 社会福祉法人制度改正に対応した収益の確保、安定した経営実現の為の稼働率・予算管理の徹底。各職員がやりがいを持ち、成長できる職場作り。対人援助技術の向上を目指した研修による、信頼ある施設づくり。

【本部】

1 理事会

開催日	議題
5月25日	平成30年度事業報告と決算・役員を選出
6月15日	理事長選出
9月28日	9月度報告
翌3月14日	平成31年度事業計画と予算

2 評議員会

開催日	議題
6月15日	平成30年度事業報告と決算・役員を選出
翌3月21日	平成31年度事業計画と予算

3 監事監査 5月17日（金曜日・PM～）予定

4 その他

- ① 各事業間の交流の場作りとして、一緒にできる行事——てふてふ感謝祭、ふれあい一泊の旅、新年会・成人を祝う会、ボランティアさんに感謝する会——の企画の場作り
- ② 事業の拡大

【生活介護事業】

1 重点事項

- (1) 午後の日課に療育活動を組み込み、療育活動が必要な利用者に対応していき、利用率の向上を図る。
- (2) 従たる事業所の日課を確立し、目的を持って利用者支援に取り組んでいく。
- (3) 利用者及び家族に対し、施設利用の役割と有効性を伝えていき、利用率の向上を図る。
- (4) 利用者数を順に増やしていく。まずは、主たる事業所27名・従たる事業所4名でスタートし、主たる事業所から順番に定員に達するように利用者の確保に努め、地域資源としての役割を担っていく。

※上記(1)～(4)重点目標の一つ一つを全職員が一丸となって利用者に寄り添った支援に取り組み、これまで以上に確固たる信念の下、利用者にとっての居場所づくりを再構築する事と稼働率の更なる向上・主従合わせて40名定員を目指していきます。

2 開所状況

- (1) 開所日・・・原則月曜日～金曜日（祝日・夏期休業日・年末年始休業日を除く）
※月1回行事の日として開所し、イベントには積極的に参加できるよう土曜日もしくは日曜日に希望者に対して開所していく。
- (2) 開所時間・・・9：00～16：00

3 利用者受け入れ状況 定員…40名（契約者・・・31名）

4 日課

8:45-9:00	9:00-9:30	10:35	12:00	13:00	14:10	15:30-45	16:00	17:15							
スタン ツプ フ 出 勤	ミー ン ン グ	体 操	作 業	休 憩	作 業	昼 食	休 憩	作 業 ・ 療 育 活 動	休 憩	創 作 活 動	片 付 け	ミ ー テ ィ ン グ	メ ン バ ー 退 勤	記 録 付 け	ス タ ッ フ 退 勤

※作 業…下請けを中心とした内容（輸入雑貨検品・ガス給湯器パネセット作業・等）
縫製・藍染め・手織り・切り絵・クッキー作りを中心とした内容

※療育活動…音楽・運動等

※創作活動…芸術クラブ・書き方クラブ・調理クラブ等

5 行事予定
（別紙参照）

6 工賃

- ・工賃の確保の為に、販売の機会を増やしていく。定期イベント以外に参加可能な販売先を模索していく。
- ・下請け作業の単価及び取引先を見直し、効率よく工賃の原資を確保していく。

7 職員体制

従たる事業所に専従配置する事が、利用者数が増えてくるまで職員の補充を行わない。

従たる事業所を含め、3班制を導入し、目的毎でわかりやすい支援をしていく。また、主任2名を中心とした連携強化に伴い、目的意識と遂行能力のスキルアップを図る。

- (1) 管理者 : 1名（常勤・サービス管理責任者兼務）
- (2) 主任生活支援員 : 2名（常勤）
- (3) 生活支援員 : 5名（常勤3名 非常勤2名（利用者：支援員＝5：1））
- (4) 看護師 : 1名（非常勤）
- (5) 事務職員 : 1名（常勤1名は相談支援の事務職員を兼ねる）

※医師・・・嘱託医として桃山診療所(内科)医師

8 職員研修予定

- (1) スタッフ会議（月/1回）
- (2) ケース会議（月/1回）
- (3) 施設内研修（年/4回）
- (4) 名障連主催による研修
- (5) 県社会福祉協議会主催による研修
- (6) 県福祉協会主催による研修等

9 実習生（養護学校高等部）受け入れ予定日

- (1) 6月・11月（養護学校校外実習期間）
- (2) 7月～8月（夏休み）、12月（冬休み）、3月（春休み）

10 ボランティア受け入れ予定

- (1) 常時
- (2) ふれあい一泊の旅・バス旅行・てふてふ感謝祭（8月・9月・11月）

11 地域交流実施予定

感謝祭、徳林寺花祭り、天白区区民祭り、桃山いきいきフェスティバル

12 生産活動

- (1) 自主製品作り（技術・品質の向上に重点を置く。）
 - ・藍染め製品・縫製製品（刺繍雑巾を含めて）・手織り製品・クッキー作り
 - ・その他（編み物製品・クラフト製品）
- (2) 下請（効率アップ）
 - ・輸入雑貨検品・段ボール緩衝材作成・ガス給湯器バネセット・トイレ設置部品袋詰め等
- (3) 販売
 - ・天白区役所（毎週水曜日 10時～12時）
 - ・従たる事業所販売（週2日：曜日等開所後の様子を見ながら決定していく。）

※委託販売先の開拓をしていく。

【公用車の確保】

- 1 財団寄贈車両に応募する。
 - ※中古車（軽貨物・軽ワゴン）の購入も視野にいれていく。
 - ※従たる事業所用の車両を検討していく。

平成 31 年度 行事予定

月	法人本部	てふてふ(生活介護)	パピヨン(共同生活援助)
4		徳林寺花祭り：1日～7日 個別面談	個別面談
5	監事監査 理事会	障害者スポーツ大会：5日 フットベース交流会 避難訓練(水被害想定)	障害者スポーツ大会：5日
6	評議員会	健康診断 業者清掃	健康診断
7	機関紙発送	風まつり	誕生会
8		ふれあい一泊の旅(1回目) ふれあい一泊の旅(2回目) 夏季休業：13日～15日 避難訓練(消化器体験)	ふれあい一泊の旅(1回目) ふれあい一泊の旅(2回目)
9	理事会	支援計画モニタリング バス旅行	支援計画モニタリング
10	機関紙発送	個別面談 天白区区民祭り：27日	個別面談
11		感謝祭：2日 業者清掃 福祉と映画のつどい	誕生会
12		仕事納め忘年会：21日 年末年始休業：29日～3日	クリスマス会
1	新年会：18日	初詣：6日 新年会：18日	新年会：18日
2	機関紙発送	避難訓練(地震想定)	誕生会
3	理事会 評議員会	支援計画モニタリング 梅まつり	
月毎/ 週毎	月曜 打合せ	第1木曜 スタッフ会議 第2木曜 家族会会議 第3土曜 行事の日・ケース会議 第4金曜 メンバー・スタッフ会議 毎週水曜 天白区役所販売 随 時 外部研修	第1木曜 スタッフ会議

【共同生活援助】

- 1 目標…2つの居住場所を一括した支援体制を整え、快適な生活を目指していく。
 - ① 勤務職員の配置を固定しないで流動的にどちらも勤務できる体制作り。
 - ② 祝日土日にホーム利用者と外出を行う。誕生日会食を行う。
 - ③ 利用者宛てへの書類の支援、通院等の引率を行う。
- 2 事業所の名称及び所在地
『グループホームパピヨン藤が丘』名古屋市名東区藤が丘 33 番地の 1
『グループホームパピヨン豊が丘』名古屋市名東区豊が丘 2708 番地
- 3 開所状況…365 日
- 4 職員の職種、員数
 - (1) 管理者 1 名 (常勤：サービス管理責任者兼務)
 - (2) サービス管理責任者 1 名 (常勤：管理者兼務)
 - (3) 世話人 12 名 (常勤：生活支援員兼務 3 名、非常勤：9 名)
 - (4) 生活支援員 3 名 (常勤：世話人兼務 3 名)
- 5 利用者受け入れ状況 …16 床
- 6 実費 (一人当たり月額試算)
 - (1) 食材料費 月額 20,000 円
 - (2) 家賃 月額 27,000 円 (修繕積立 2,000 円を含む) ※豊が丘家賃月額 35,000 円
(内修繕積立 2,000 円)
 - (3) 光熱水費 月額 10,000 円
 - (4) 日用品費 月額 4,000 円
 - (5) 金銭管理 (年金管理 3,000 円 通帳管理 2,000 円)
 - (6) その他日常生活においても通常必要となるもの
- 7 夜間体制
緊急夜間体制・・・管理者及びサービス管理責任者を窓口とする。
夜勤・宿直体制・・・必要時に行う。
- 8 職員研修予定
 - (1) スタッフ会議 (月/1 回)
 - (2) ケース会議 (月/2 回)
 - (3) 名障連主催による研修
 - (4) 県社会福祉協議会主催による研修
 - (5) 県福祉協会主催による研修等
- 9 協力医療機関・・・医療法人福友会福友病院

【短期入所】

- 1 目標…稼働率アップを目指していく。
 - ① 短期入所利用申し込み者の面談を行い、新規利用者もどんどん受け入れていく。
 - ② 担当職員を配置する。
- 2 事業所の名称及び所在地
てふてふショートホーム：名古屋市名東区藤が丘 33 番地の 1 『ショートステイパピヨン藤が丘』
- 3 開所状況…365 日
- 4 職員の職種、員数
 - (1) 管理者 1 名（常勤：共同生活援助の管理者兼務）
 - (2) 世話人 12 名（常勤 3 名、非常勤職員 9 名：調理員兼務）
 - (3) 調理委員 12 名（常勤 3 名、非常勤 9 名：世話人兼務）
- 5 利用者受け入れ状況 … 1 床
- 6 実費（一日当たり試算）
 - (1) 水光熱費・・・500 円（1 泊）
 - (2) 食事・・・・朝 300 円・昼食 400 円・夕食 600 円※例 夕食一泊一朝食→1,400 円
- 7 夜間体制
緊急夜間体制・・・管理者を窓口とする。
夜勤・宿直体制・・・必要時に行う。
- 8 職員研修予定
 - (1) スタッフ会議（月/1 回）
 - (2) ケース会議（月/2 回）
 - (3) 名障連主催による研修
 - (4) 県社会福祉協議会主催による研修
 - (5) 県福祉協会主催による研修等
- 9 協力医療機関・・・医療法人福友会福友病院

【相談支援】

1 目標

緊急時における対応に迅速に相談にのっていく事に努める。

2 開所状況

(1) 開所日・・・原則月曜日～金曜日（国民の祝日、12月29日から1月3日までを除く）

(2) 開所時間・・・9：00～16：00

※管理者と相談支援専門員が不在時の連絡は、併設の事業所からの連絡が行われる体制をとる。
上記の営業日、営業時間のほか、電話等により緊急時の連絡が可能な体制をとる。

3 職員の職種、員数

(1) 管理者 1名（常勤：相談員兼務）

(2) 相談支援専門員 1名（常勤：管理者兼務）

(3) 事務員 1名（常勤：生活介護の事務員兼務）

4 主たる対象の障害の種類は、特定しないものとする。

5 通常の事業の実施地域は、名古屋市全域の区域とする。

6 相談支援の内容

(1) 基本相談支援

(2) 障害者及び障害児の支援事業者等の情報提供

(3) 訪問によるアセスメント

(4) サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成及び変更

(5) サービス担当者会議の開催等による専門的な意見の聴取

(6) 訪問によるモニタリング

(7) 地域定着相談支援

(8) 地域移行相談支援

7 職員研修予定

(1) 天白区自立支援協議会による研修

(2) 名障連主催による研修

(3) 県社会福祉協議会主催による研修

(4) 県福祉協会主催による研修等

8 利用件数…昨年度を踏まえ、60件ほどと考える。